

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	西舞子音楽堂児童デイサービス			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 3日 ~			2026年 1月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2025年 12月 3日 ~			2026年 1月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 26日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域活動のプログラムを基盤に、利用者様とのアセスメント、モニタリング等を通して個別支援計画を作成し、一人ひとりの特性に応じたきめ細やかな支援の充実を強化しています。	衛生面（手洗い、消毒）、挨拶、宿題支援（漢字、計算など）、毎月のカレンダー製作では、自らパートを選び、ハサミやのりなどの用具を安全に使い、手や指先の可動に繋がる取り組みなど、一人ひとりの特性に応じた日常生活の自立や社会に適応出来る支援を意識し、自己選択、決定の場を提供しています。	こちらの取り組みをご家庭にお伝えし、無理のない範囲でご家庭でも継続して取り組んでいただけるよう、日々ご家庭との連携、調整に努めています。日頃から職員間で話し合える風通しの良い場作りに努め、児童一人ひとりの特性を正しく理解し、児童の気持ちを尊重した支援が行えるよう心掛けます。
2	音楽療法士やプロのミュージシャンによる、歌や楽器演奏（ジェンベ）、ダンス、ゲーム等、豊富な音楽活動の場を設けています。歌の活動では、発語、発声に繋がり、声量のコントロールを支援します。楽器演奏では、様々な楽器に触れることが出来、表現の幅を広げることに期待出来ます。	手遊び、リトミック、平均台、マットなどをを使ったサークル遊びなど、手や体全体を使ったバランス感覚の成長を意識して支援しています。児童の「～したい」という気持ちを尊重しながら、役割を任せ、集団の中でのルールを学び、自信や経験に繋がる支援を意識しています。	インクルージョンの視点から、児童一人ひとり特性は違っても、集団音楽活動を楽しみ参加し活躍できるプログラム作りを、日頃から関わる職員で考え取り組んでいます。自主性を大切にして待つようにしています。
3	毎月、おやつクッキング、カレンダー製作などの取り組みを開催しています。またイベント（ジェンベ大会、クリスマス会）など児童のモチベーションアップに繋がる取り組みもあり、コミュニケーション能力やスキルの向上が期待できます。	おやつクッキングでは、児童の好みも確認しながら、楽しく安全に取り組める環境を整えています。またイベントを通して、新しいことにチャレンジしたり普段関わりのない児童との交流を深めたりできるよう意識しています。	取り組みが偏らないように職員で意見を出し合い、またご家庭での様子もお聞きしながら連携を取り、児童が安心して楽しく過ごせる場となれるよう取り組みます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもと活動する機会が設けられていない。	児童館に並行で利用されている児童はいますが、交流には至っていないです。相互に必要性の有無の確認や要望がありませんでした。	地域の子どもたちの交流に関する情報など取り寄せ、必要であれば相互に確認を取り、交流の機会を設けることを検討します。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなどの家族の支援やきょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同志の交流の機会が設けられるなどのきょうだいへの支援が見られない。	ごきょうだいのご利用できょうだい同士の交流の機会はありますが、父母の会、保護者同士の交流などの家族支援、きょうだい向けのイベントなどのご家族の参加されるきょうだいへの支援の開催は行われてないです。父母の会の活動は希望されない保護者の方もいらっしゃいます。	ご要望など確認を取りながら、現状に応じて、開催の機会を検討していきます。季節のイベントを通して無理のない交流の機会を継続して設けていきます。
3	家族に対しての家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない。	個別のご相談で、ご家族のご相談にお答えする機会はありますか、ペアレント・トレーニング等の家族参加型の機会は設けられていません。	家族参加型の研修会や情報提供など、ご要望があれば可能であるか確認取りつつ検討していきます。

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	西舞子音楽堂児童デイサービス	公表日 年月日	2026/1/26				
利用児童数	20	回収数	17				
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16			1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	2			他の事業所に比べると少ない気がします。（負担等）先生が大丈夫ならいいのですが…	基準の人数を満たしていますが、個別対応も含め活動内容に応じた安全な支援を心掛けています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1		4		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1		1		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	15	1		1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	2			おやつクッキングは色んなメニューにトライしていると思いますし、長期休暇期間に外出イベントと色んな工夫をされていると感じます。おやつクッキングは、毎回違うメニューで報告を聞いてるだけで美味しいそうです。	固定化されないよう、児童のニーズも取り入れながら楽しく取り組めるメニューを考えています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	4	1	5		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2	1	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	16	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	2				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	2	5	きょうだい向けはありませんが、家族で参加出来るイベントは年に数回開催されます。家族同士の交流は自由でちょうど良いです。	クリスマス会やジンベ大会などの季節のイベントにおいて、ご家族や先生方が参加できるイベントを行っています。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	2		2		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1				
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	2		2	活動の様子を見るSNS(HP)はあるのでしょうか？	HPでの定期的な活動の配信は行っていないですが、ご希望ありましたら、公式LINEにてお子様が参加している活動のご様子を可能な範囲でお伝えさせていただいています。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	2		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15					
	29	事業所の支援に満足していますか。	15					

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		西舞子音楽堂児童デイサービス				公表日	2026年1月26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			部屋は広いが部屋を仕切るパーテーションがなく、不穏な児童がいた場合安全確保を考えるう上でもパーテーションが必要である。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	お互いに連絡を密に取り合い、配置数が不足にならないようにしている。	送迎時など待機職員確保の検討が必要である。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		当日の予定をボードなどに分かりやすく書き、確認しながら行動し、児童の状況に合わせた形を行っている。隣の就労施設やカフェと連携を取り、エレベーター使用等対応している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		宿題や課題活動には、活動の妨げにならないようにルールを決めて行っている。日々清掃や消毒等心掛けている。高さの違う机を常備している。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2	個別の部屋がないので必要な児童には、職員が近くで対応している。パーテーションを利用することで可能にしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4			パート職員も含めて情報共有していくことが必要である。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		職員全員で評価表の意見を共有し対応している。また送迎時など保護者の意見などを聞き、その都度対応している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		職員間で意見出来るように考え、意見などは職員間で共有するように努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	イベント時等で評価をいただくことがある。	第三者による外部評価は受けていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		音楽堂主催の感染症や虐待防止などの研修を行っている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		HPに支援プログラムを掲載している。個後の利用者に対応できるプログラムに努めている。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		日々の児童の行動や保護者、相談支援員などの情報を分析し、計画作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		職員などと共通理解のもと、個別支援計画を作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		職員間で個別支援計画の支援内容を確認しながら支援を行っている。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		学校の先生、保護者、相談支援員の方からの情報を職員間で共有しながら日々の活動に努めている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		5領域を踏まえ、支援内容を作成し、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」を取り入れ具体的な支援内容に努めている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		職員間などで話し合い（ミーティング）プログラムの立案を行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		子ども達から活動について意見を聞き、前回のプログラムを検証確認しながら対応している。		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		集団活動が苦手な児童には無理に参加するのではなく、少し離れた場所で集団に参加している。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		常に話し合い確認を行っている。		

	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		職員間で当日の児童の様子や行動を話し合い、必要に応じて今後の対応の検討柄を行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		記録（ケース）を行っており、振り返りをしている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		半年以内に「モニタリング」を行っている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4		「おやつクッキング」や「カレンダー製作」などの活動を行っている。必要に応じて外出の機会を増やしていきたい。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		自らの選択肢を増やし、学びの工夫をしている。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		要望があれば、子どもの状況をよく理解した職員（管理者）が参画している。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		各機関と連携出来るように取り組んでいる。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		学校お迎え時に引継ぎを行っている。保護者を通すことが基本であり、状況に応じて行っている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1		現時点では対象者がいないが、今後必要であれば情報共有しつながりを深めていく。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		3		余裕があれば機会を設けることを考慮していく。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		現在行っていないが、必要であれば考えていく。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		3		
	34 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時に気が付いたこと、気になったことを伝え面談時でも伝えている。	じっくり向き合えるよう時間が必要。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2	家族から困りごとや相談等は都度対応している。	
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に行なっている。新制度に変更の際その都度行っている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		面談などで保護者の意向に沿った支援計画を作成している。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		計画を説明しながら同意を得ている。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		保護者に寄り添いながら面談や必要な助言を行っている。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	保護者より希望される方がいないので行っていない。	各家庭のご事情を踏まえると機会を設けること自体が難しい。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		意見や要望があった場合、出来る限り対応している。事業所、全体で考慮し、その都度対応を工夫している。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	2	HPで活動報告は行っているが、SNSは個人情報観点から行っている。公式ラインの利用を行っている。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報は常に気を使い注意している。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		意思表現が難しい児童に合った言葉遣いや絵、文字を書くなど情報共有に努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1	カラフルフェスティバルなどの地域のお祭りに参加する機会を設けている。学校の先生が来所されることがある。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		緊急避難マニュアル、感染症マニュアルなどを作成している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		BCPを作成し、訓練などを行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		保護者からの情報で投薬や発作などの情報を共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1	契約時に保護者から情報を得ている。現時点では対象者はいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットを行い再発防止に向けた方策を検討し共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止のための研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	2		研修等により、身体拘束の適正化を行っている。現時点では対象者がいない。